



校長室だより

第 4 4 号
(通算第97号)
令和5年1月10日(火)
大崎市立沼部小学校
校長 吉田 浩之

あけまして おめでとうございます

穏やかに新年を迎えられたことと思います。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。本日、体育館で冬休み明け全校集会を行いました。子供たちに話した内容です。(今回も両面になってしまいます。御容赦ください。)

沼部小学校のみんなが元気で、すばらしい年になるように願ひを込めて新年の挨拶をしましょう。私が先に言いますから、みんなも「おめでとうございます。」と続けてください。

「新年 明けまして おめでとうございます。」

皆さんの新年にかける思いが伝わってきました。今日、この寒い中、元気に登校してくれたこと、笑顔のみんなに会うことができたこと、先生方は安心していきますし、とてもうれしく思います。

2023年、令和5年は何年でしょうか。そう、兎年です。6年生の一部の人と、5年生の多くの友達が兎年生まれです。なんと、なんと、伊達政宗も兎年生まれだったそうです。

兎年は、芽を出した植物が成長していき、茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。

また、うさぎは飛び跳ねることから、飛躍するという象徴になります。兎にまつわることわざで「兎の登り坂」というのがあります。「兎は前足が短くて坂を登るのが巧みであることから、地の利を得て得意の力を発揮すること。」なんだそうです。みんなも得意な力を存分に発揮できる年にしてほしいと思います。そして、コロナ感染予防対策をしっかり行い、コロナに負けず前を向いて飛躍する年にしていきましょう。

さて、今日から2学期の後半となります。1年の締めくくりであると同時に、次の学年に向けた重要な時期でもあるのです。これまで沼部小学校の目指すみんなの姿、「ぬまっこ」を達成しようと頑張ってきました。新しい年の初めにあたり、いいクラスだったと誰もが言える学級にするために、もう一步前進して学年の締めくくりをしたいものです。



そこで、挑戦してほしいこととして、「ありがとうの花を咲かせる」という話をします。校長先生は、日本で一番美しい言葉は、「ありがとう」だと思っています。みんなが「ありがとう」を言う時、目には見えませんが、2つのきれいな花が咲きます。「ありがとう」を言う人のうれしい気持ちで花が一つ、「ありがとう」を言われた人もうれしくて、うれしい花がもう一つ。みなさんには、たくさん「ありがとう」を言ったり、言われたりして、教室を、学校を、ありがとうの花でいっぱいにしてほしいと思います。そして、どの人も抱えきれないほどの「ありがとう」の花束を胸に、卒業、進級しましょう。校長先生も先生方も、毎日、みんなにたくさん「ありがとう」を言いたいと思います。それから、みんなからたくさん「ありがとう」を言われるように頑張ります。



沼部小学校が「ありがとう」の花でいっぱいになることを期待しています。

短いながらも大切な3か月、一日一日を大切に過ごしてください。そして、手洗い、消毒、マスク、換気にもしっかり取り組んでいきましょう。

この3か月の授業日数は、1年生から4年生までが51日、5年生が52日、6年生が48日間となります。そして、沼部小の今の学年学級の最後の3か月となり、もう2度とありません。新たな年を迎えて、去年に戻りたいということはいけません。子供たちには、「もうすぐ中学生。」「もうすぐ〇年生（次の学年）。」というつもりで学校生活を送ってほしいと願っています。また、2度とない今の学年学級の時間、今一緒に学んでいるクラスの仲間を、大切にしてほしいと思います。

学年のまとめをしっかりと行い、次の学年につなげてまいりますので、本校の教育活動に御理解と御協力をお願いします。

新型コロナウイルスの感染者数が高止まりです。今後も感染防止対策をしっかりと行っていかなければならないと感じています。学校では、密にならない工夫、こまめな手洗いと手指の消毒、十分な換気、人が集まる場所でのマスク着用など感染防止対策に努めてまいります。御家庭でも御協力をお願いします。